

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第187号(2017.05.12発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までご連絡ください。

【お知らせ】

- 2017年度の受講生を募集しております。講座の詳細はHPをご覧ください。

※1学期の申し込み締め切りは終了しました。

《キャリアアップ・プログラム》 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>



《カルチャー講座》 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>



【目次】

・巻頭言……広島経済大学 経済学部

教養教育部 准教授 木本 一成

・広島経済大学 HP の紹介

・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

教養教育部

准教授 木本 一成

1学期 CP 講師『ビジネス文章表現』

## 読み間違い

近代文学の研究者である石原千秋の本を読んでいると、その一節に芥川龍之介の小説「蜜柑」のことが取り上げられていた。「蜜柑」はおおよそ次のようなお話である。

疲れ果てて客車の座席に坐っていた主人公の<私>は、見てくれのよくない田舎者の小娘が乗り込んできたのを見てもますます不快になる。やがて客車が動き出して踏み切りに近づくと、小娘は突然立ち上がって席を移り、いきなり窓を開け、そして持っていた蜜柑を、走っている客車の方に向かって手を振っている子どもたちに投げ与える。これを見た<私>は、おそらく小娘は、奉公に行く自分を見送りに来た弟たちへのねぎらいの気持ちを伝えようとしたのだろうと思って、温かい気持ちになる。

石原の本では、その客車の座席について、「ボックスシートか、ロングシートか」が論じられていた。「そんなことは、どうでもいいことでは？シートの配列を気にしながら読む読者がいるの？」と思いながら続きを読むと、真面目にこの問題を調べた研究者がいて、その人が当時の横須賀線の車両を調べたところ、平行ロングシートだったということが分かったのだそうだ。

「それが近代文学の研究とどう関係するの？」と思いながらさらに続きを読むと、その研究者は、シートの違いを見落とすと主人公の気持ちを読み間違えることになる、と指摘しているということが書かれていた。「自分はふつうにボックスシートだと思っていたけど、違ってたんだね。でも、そのシートの違いで読み間違えるというのは大げさでは？」と相変わらず軽い気持ちで読んでいると、その次のページで、石原はその研究者の説を引きながら次のようなことを述べていた。

ボックスシートとして読むと、小娘は、踏み切り側に席を移すためにボックスシートの反対側の席から、主人公が座っているボックス側に移動してきて窓を開けたことになる。小娘のしたことは、<私>への配慮を欠く非常識な行為として読み取ることになる。ところが、ロングシートの場合、窓を開けるために反対側の席に移動するのは、特に不自然とはいえない。また車内はすいていたという状況設定だから、他の客への迷惑ということもほとんどないと考えてよい。

「言われてみれば確かにそうだけど、それで読みがどんなふうになるの？」と思って続きを読むと、石原は、ボックスシートとして読むことで、勝手に「小娘＝非常識な人物」という<私>の見方を誇張して読むことになり、その結果、結末の「小娘の行為を見て<私>が心温かい気持ちになる」様子を、必要以上にことさら感動的なものとして読み取ることになる、と指摘する。つまり、小説に描かれた出来事を超えて、読者の先入観で誤った世界を作ってしまうというのである。

ここまで読んできてはじめて、自分の読み間違いが意味するものが分かった。併せて、近代文学研究に対する偏見を自分が持っていることにも気づいた。自分の無知をさらけ出すようで恥ずかしいことだが、読み間違っていることに気づかされて得した気分、という不思議な感覚をいただいた。

本学の授業では、日本語文章表現を担当している。学生もよく読み間違いをする。授業では、その読み間違いを正して課題を正確に理解させることに多くの時間を費やしている。

担当しているある科目では読み間違いを正すために、いま読んでいる箇所よりも先の箇所の内容を予想してから読む、という指導をすることがある。たとえば、新聞記事の書き方(典型的な形式や表現)を教えるから、記事の見出しやリード文を読ませ一旦そこで立ち止まらせる、そして、その後に書かれている記事内容を予想させてから続きを読ませる、という読み方である。こんな指導すると、自分の予想と実際に書いてある内容とを照らし合わせながら読むようになるので読み間違いが少しは減るようになる。しかし、中には、いったん予想すると自分の予想の方が正しいと勝手に思い込んで、実際に書かれている内容を軽く読みとばしてしまうこともある。つまり、この指導では読み間違いを助長させることもあるということである。それでも、先を予想してから読むという指導をもう少し続けてみたいと思っている。なぜなら、どん

な予想であろうと予想するには対象に対して向き合わなければならなくなるからである。読み間違ってもいいので、目の前の文章と向き合わせる事が本学の学生には大切だという思いである。

キャリアアップ講座では、読み間違いということがないように努めますが、うっかり読み間違ふことがあるかもしれません。その際は、遠慮なく私の間違いをご指摘ください。

---

#### ■広島経済大学 HP のご紹介

本学を HP にて紹介しています。キャリアアッププログラムの基盤となっているカリキュラムや学生の生き生きした明るい表情がうかがえます。URL をクリックして、本学の様子をご覧くださいと思います。

【広島経済大学 HP】<http://www.hue.ac.jp/>

天候に恵まれたGWが終わり、とても過ごしやすい季節。新入生はようやく大学に馴染みはじめたところですが、4 年生はというと就職活動が本格化し、夏前ですがとても熱〜い戦いを繰り広げています。

さて、先日のフラワーフェスティバルでは、企業やNPOと連携して本学興動館プロジェクトが複数参加しました。多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。また、教員免許状講習や大学連携による新たな教育プログラム「持続可能性とイノベーション」など社会人向け講座の案内もホームページに掲載していますので、どうぞご覧ください。

---

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までどうぞ。

**HUE 広島経済大学**  
**CAREER UP PROGRAM**